

News Letter

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <https://www.kokudo.or.jp>Japan Geographic Data Center
公益財団法人
国土地理協会

北海道石狩郡当別町に新町名「ロイズタウン」誕生！

2025年(令和7年)4月1日に北海道石狩郡当別町に新町名「ロイズタウン」が誕生しました。新町名誕生に先駆けて「ロイズタウン駅」が、道内の在来線では20年ぶりに新設されたそうです。当別町は札幌市に隣接しており、札幌駅から電車や車で約45分、空港や港へアクセスしやすい国道337号線や鉄道もあり、充実した交通ネットワークを生かして、ビジネスの拠点としても期待されています。当別町の歴史としては、1871年(明治4年)、仙台藩岩出山伊達藩の当主であった伊達邦直が、180人の家臣団を率いて当別町に移住し開拓したことに始まります。ロイズタウンという新たな名所も生まれ、益々魅力あふれる町として注目されています。



新しいまちづくりについて、当別町役場(企画部様)に伺ってみました。

(写真提供: 当別町役場(セールス戦略課様<当別町PR誌より>)

ロイズタウン駅の開業、新町名ロイズタウン誕生の経緯を教えてください。

2022年(令和4年)3月12日に開業をしたロイズタウン駅のあるエリアは、当別町の中で最も札幌市に近い田園風景が広がる地域で、「北欧の風 道の駅とうべつ」や、ロイズタウン工場内の体験施設である「ロイズカカオ&チョコレートタウン」などの施設がある新たな観光周遊エリアとして、当別町でも「新しいまちの顔」として位置付けているエリアです。新駅や新町名は、こういった「新たな観光周遊エリア」の拠点となる場所として「交通利便性を高める」ことや、「まちの新たなランドマーク」として期待できることなど、まちづくりへのメリットが大きいと考え、誕生しました。



ロイズタウン駅

今、人口の減少が課題となっていますが、定住人口を増やすための当別町の取り組みを教えてください。

小中一貫教育を実施するなど子育て教育環境を充実させており、新築・中古を問わず、町内に住宅を購入した方に最大100万円の住宅取得補助制度を設けるなど、道内外からの移住促進に力を入れています。

新町名「ロイズタウン」をローマ字表記にした場合、駅名と同じ「ROYCE'TOWN」となるのでしょうか。

当別町の新たな町名としての「ロイズタウン」についてはカタカナでの表記となっており、ローマ字での表記を定義しておりません。ロイズタウン駅の看板の英語での表記については「ROYCE' TOWN STATION」となっております。



当別町で北欧文化を体感「スウェーデンヒルズ」

～スウェーデンヒルズは住所地名としても使われています～

当別町はスウェーデン中部にあるレクサンド市との姉妹都市提携をしており、全国としても数少ないスウェーデンとの国際交流を積極的に行っています。当別町の風景がスウェーデンの首都ストックホルムの街並みに似ているということからスウェーデン村の構想に広がり、1980年代に北欧型風のニュータウン「スウェーデンヒルズ」が誕生しました。四季折々の自然に囲まれた暮らしに魅了され、道外から移住を希望される方も多いです。日本とスウェーデンの国際交流拠点として1986年(昭和61年)に開館した「スウェーデン交流センター」では、スウェーデンの「吹きガラス」の制作や、「ブンネ楽器」(スウェーデンで開発されたユニバーサルデザインの楽器)や「スウェーデン伝統料理」(豚肉入り豆スープなど)を体験することができます。またスウェーデンでは、1年間で最も昼の時間が長い日(夏至)をお祝いする重要な伝統行事「夏至祭」があり、当別町でも毎年6月に交流の証として盛大に開催されています。当別町では生活体験として「お試し暮らし」を実施しており、このスウェーデンヒルズでも移住する前に生活体験ができます。



スウェーデンヒルズ

ぶらり 当別町Ⅰ

● 北欧の風 道の駅とうべつ ●

駅舎は木のぬくもりが感じられる北欧風のつくりになっており、ものづくり体験や食のイベントなども数多く企画しています。農産物直売所「はなポッケ 道の駅店」では、当別町のとれたて新鮮野菜や米、100%当別町産小麦で作ったラーメンやうどん等を販売しており、連日たくさんの買い物客で賑わっています。花の栽培も盛んな当別町ならではの、花の種類も充実しています。夏には、ジャージー牛の濃厚なミルクを使ったプレミアムなソフトクリームも販売しており、年中通して豊富な自然と食に出会える場所になっています。



北欧の風 道の駅とうべつ



農産物直売所

ぶらり 当別町Ⅱ

● 北海道^{あま}亜麻まつりin当別 ●

当別町の初夏を彩る亜麻の花。亜麻は古代から人類の生活に欠かせない最古の植物の一つとして利用されてきました。7月上旬の花の見ごろに合わせて毎年「亜麻まつり」が開催されています。明治時代、亜麻の茎からとれる繊維産業が盛んだった当別町で行われるこのお祭りでは、亜麻仁油や亜麻の実を使ったメニューが楽しめ、多くの人が訪れています。



亜麻の花

第44回 地図地理検定のご案内

主催（一財）日本地図センター、（公財）国土地理協会

- (1) 試験日 : 2025（令和7）年11月9日（日）予定
- (2) 試験時間／問題数
 - 地図地理検定（基礎）：13:30～14:20・全問択一式、100点満点
 - 地図地理検定（専門）：15:00～16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点
- (3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
- (4) 受検資格 どなたでも受検できます。年齢等、一切の制限はございません。

前回の問題は
ココでチェック！

地図地理検定

検索

受検料

基本受検のほかにリピーター割引、学生割引、シニア割引等があります。5名以上なら団体受検もできます。

	地図地理検定（基礎）	地図地理検定（専門）	基礎・専門の併願
基本受検料	3,000円	4,000円	5,000円
各種割引	2,000円	3,000円	4,000円

詳しくは地図地理検定ホームページ（<https://www.jmc.or.jp/keihatsu-kyouiku/chizuken/>）をご覧ください。

地図地理クイズ！

(第40回地図地理検定より出題)

問 現在の地形図は、平成25年2万5千分1地形図図式で描かれています。次の6つの建物と、建物の種類を示す地図記号のうち、組み合わせとして誤りがあるものを、後の①～⑥のうちから1つ選びなさい。



①



②



③



④



⑤



⑥

【答え】⑥
【解説】地形図や地理院地図で使用される地図記号には、建物の種類を示すものが多い。①は赤い消防車が複数あり、右奥には訓練のために使用する施設が見え、消防署であることがわかります。江戸時代から建物をこわす道員として使われていた「さすまた」記号の由来です。②は警察署で、「警棒を交差させている」ところが地図記号の由来ですが、交番・駐在所と区別するために警察署の記号では丸で囲んであります。③は市役所で、この地図記号は「明治24年地形図図式」から使用されています。④は郵便局で、かつて郵便を管轄していた通信局の「フ」を丸で囲んだ記号といわれています。⑤は「五穀四民」のテーマのアイランド型の高層ビルのような記号（㊦）もみられました。⑥は建物の入り口として丸で囲んだ記号が、地図記号は本を開いたから神社と判断できません。この地図記号は鳥居をあらわして使われています。⑥は「博物館」の文字があることから博物館と判断しますが、地図記号は本を開いたような形をしています。つまり、写真は博物館ですが、地図記号は図書館であり、⑥が誤りです。博物館の記号は㊦です。

ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3番1号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184

URL <https://www.kokudo.or.jp>